

議会報告 一般質問

泉大津の潜在能力をいかに引き出すか。財政問題とどう向き合うか。地域主権を見据えてどのような準備が必要か。米百俵の精神に基づいた人材育成。地域力の向上等々...様々な声に耳を傾けながら、幅広く動き、研究し、一般質問を実施しています。

質問(12月) ~ホームページなどを利用した広報戦略について~

提案し立ち上げて頂いた**携帯サイトの休日夜間診療所情報や災害時避難場所等の今ある機能にAEDの設置場所を検索できる機能とイベント情報等の更新される情報を追加し、より多くの方に役立ててもらうためにもQRコードの活用**や学校や幼稚園等を通じた保護者への案内を徹底しては?市の行事等への関心づくりになったり、登録者が増えればメルマガ発行で、より役立つ情報提供も可能になる。

~現在①~

携帯サイト機能に**AED設置場所検索機能とイベント情報や主要情報が掲載**されています。また市の封筒や広報等にQRコードが掲載されるようになり現在アクセス数が着実に増加中。

~現在②~

パソコンHPでも**イベントカレンダー機能や子育て掲示板**による相談等、市民生活に役立つ情報が充実。



市の携帯サイト。役立ててください!

質問(3月) ~歳入確保を図り、市民サービスの確保・向上を~

市税収入の落ち込みもあり、あらゆる手段から歳入確保を図り市民サービスを確保・向上させていくためにも、以前提案した**歳入確保のプロジェクトチームをもっと活用すべきでは?**

また、ふるさと納税の活用や、他の方策として、**企業のCSR(社会貢献)活動の流れを考へて、市民・行政・企業にとってウィンアンドウィンが成立する企画を作り、企業に積極的に提案し、様々な事業の協力をもちかけては?**

~現在①~

国や関連財団等からの**補助金の獲得、有効活用のための研究会を設置し歳入確保の取り組み**を実施中。
ふるさと納税については提案をしたが、やや遅い進展。

~現在②~

企業の**CSR活動との連携**については積極推進。成人病対策の料理教室や親子そばうちイベントや各種事業への協賛・参加など着実に実現。今後も幅広く模索。引き続き、自らも企画・営業マンとして活動します。

質問(6月) ~知恵と工夫により、教育や地域力向上効果の高い食育(食農教育)の実践の実現に向けて~

提案してきた食育が理解され新規事業となった。教育効果はじめ様々な効果が期待できる体験型の食育(食農教育)の実現には土地の確保を必要とするが?

また、**朝食の欠食率が高い子ほど学力・体力が低くなるというデータ**がある。改善に向けて取り組むべきでは?

~現在①~

食育の実践に向けて食育推進計画を策定中。
土地の確保については、休耕地の所有者等に協力を呼び掛け一定の目途。

~現在②~

朝食の欠食については、レシピの掲載や啓発等で試行錯誤中。**改善には体験型の食育がより効果的**との研究結果を踏まえ具体事例による提案を実施しました。

質問(9月) ~財政構造の転換を図るためにも事業仕分けを導入すべき!~

財政健全化法の適用を受けることとなり、待ったなしでさらなる行財政改革を進めねばならない。しかし、**重要である事務事業評価は形骸化**してしまっている。今後も税収が落ち込み、支出が増えることが予測されることから、**改革をさらに進めるための一つの方策として事業仕分けを導入すべきではないか?**

~市からの回答~

現在の事務事業評価については、**外部有識者からも甘いと指摘**されており、現状に課題を感じている。事業仕分けについては、他市の事例から成果のあるものと認識しており、前向きに検討、研究する。

~現在~

実施を拒まれている状況です。改革の大前提は意識改革。**事業仕分けは結果として意識改革を迫られる**。現在の逼迫した財政からして、**あれもこれもできる時代ではなく選択と集中が必要**。今こそ財政構造の転換をせねばならないと考えています。改革を進める方策がない以上、やるべき。**事業仕分けは改革を一步進めるための手法**であり、市民皆さんと情報共有することが大切だと考えています。

現状の財政状況をわかりやすく説明するために、市税等を給料400万円のサラリーマン家計に置き換えてみました。

(単位:万円)

収入		支出	
給料	400	食費	145
(市税・譲与税・交付税・交付金等)		(給料やボーナス等の人件費)	
※収入の根幹は市税等で、家計における給料400万円に置き換えました。		電気代・家具・習い事代・レジャー費等	58
医療費や家屋の増改築に対する親等からの援助	103	(委託料や光熱費等の物件費)	
(国庫・府支出金)		家族の医療費・養育費	127
家の増改築や生活費不足のための借金	66	(生活保護や児童手当等の扶助費)	
(市債)		家の増改築等	28
貸家の家賃や駐車場等の不動産収入	16	(施設建設等の普通建設事業費)	
(使用料・手数料・分担金等)		子どもへの仕送り	92
預貯金の利子・株の配当等	18	(下水・国保等、他会計への繰出金)	
(財産収入・諸収入等)		ローンの返済	81
預貯金の取崩しや解約・前年度からの繰越し等	12	(市債の償還)	
(繰入金・繰越金)		子どもや車の保険代等	71
		(補助金などの補助費等)	
合計 (a)	615	トイレや台所の補修費	3
		(学校・幼稚園等、施設の維持補修費)	
		合計 (b)	605
		翌年度への繰越額 (a)-(b)=(c)	10

その他、連結会計対象となる、水道・病院・国民健康保険・駐車場等の会計については90万円の赤字となり、会計全体としては80万円の収支不足に。様々な改革の効果で借金全体は減少傾向にあるものの、今後の見通しも含め厳しい状況。

質問(9月) ~地方分権を見据えて、攻めの行政スタイルを構築すべきでは~

だんじり、フェニックスコンサート、池上曾根遺跡、地域周産期母子医療センター等、市内・外に対して広くPRできる資源がたくさんある。売り込むという考えができると、例を挙げたような顕在的な資源だけでなく、何を売り込むのかを考えると、**潜在的に眠っている資源を再発見する機会にもなる**。箕面市で取り組んでいる営業課のような先駆的な事例も含め研究しては?

~市からの回答~

営業含め、攻めの行政について、今後必要になると認識している。地域にある資源をいかに引き出し、それをいかに売り出していくか、そういった売り込むスタンスについてどうあるべきかなど、研究する。

~考え方~

PRし売り込み、人が来れば**経済が動き活性化、まちのブランディング**につながる。攻めないことにはプラスはあり得ません。

質問(12月) ~大学との連携を実現し、まちの活性化を図っては~

大学と連携を図り、商店街の活性化や産業研究、福祉、教育等の現場に、大学の授業やゼミで学生に来てもらい、一緒になって様々な課題に取り組んでみては?また市役所においてインターン学生を積極的に受け入れてみては?さらには、**大学やサテライト大学、大学の小学部等の民間教育機関を誘致**することで本市ひいては南大阪の**ブランディング化**につなげ、**大きく人の流れを変えて活性化**につなげるようなビジョンを描く必要もあるのでは?

~市からの回答~

若者が来るとまちに活気が出る。インターンの拡大や大学連携の実現に向けて前向きに取り組みたい。**21世紀にふさわしいまちづくりには絶対に必要な観点**であり、文化、芸術、科学技術等の学術をミックスした中で、**サテライト大学誘致**についても積極的に考えていきたい。

~考え方~

本市では、若い世代の地元商店等の利用率が極めて低い。またイベントでは市内外から年間約6万人の人が訪れるが、一過性に過ぎない。**大学連携は、市としては様々な地域課題に大学の知的・人的資源を活かせる**。また双方にとり**人材育成や地域貢献**につながるメリットがある。

